

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス ラウレアama		公表日 2026年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		法令を遵守し、スペースを確保しております。	今後も継続してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		お子様が安心して過ごしていただけるよう配置基準以上の人員を配置しております。	今後も基準に沿って配置してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		建物内は平面構造になっており、開かれた空間となっております。	学習スペースや休憩スペースをわかりやすく設け、今後はパニックになったお子様が落ち着ける最適な環境へと整えてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		お子様が過ごす場所や玩具の清掃を毎日実施し、安全に過ごせる環境を整えております。	今後も、お子様が安心して過ごせる環境を整えてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別スペースを確保し、必要に応じて気持ちを落ち着ける際には、個別活動が行えるように配慮しております。	今後も継続してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎日朝礼と終礼の実施、1か月に1回職員会議を実施し、業務改善に取り組んでおります。	新入社員を含む全職員がPDCAサイクルを認知できるよう、周知してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々の保護者様へのヒヤリングに加え、自己評価を実施させていただいております。	今回いただいたご意見をもとに、改善点を明確にし、より良いサービス提供のために取り組んでまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のミーティングや定期的に行っている面談等で上がった意見を共有し、業務改善へつなげております。	今後も継続してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在、第三者評価は行っておりません。	今後は、第三者からの意見も取り入れ、よりよい施設づくりが行えるよう、外部評価の取り入れも検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		職員の定期的な社内研修に加えて、知識・技術向上のために外部研修への参加も実施しております。	今後も継続して、社内研修や外部研修に参加し、より良いサービス提供のために職員の資質向上を心掛けてまいります。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、内容について職員間で共通理解を図っております。	今後も継続してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		お子様一人ひとりの状況をアセスメントし、保護者様のご意向を踏まえながら、ニーズや課題を整理した個別支援計画の作成に取り組んでおります。	今後も継続してまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者だけでなく支援にかかわる職員が情報を共有し、お子様の最善の利益を考えた検討を行っております。	今後も継続してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児童発達支援管理責任者を中心にモニタリング実施と個別支援計画の作成を行い、その内容をもとにお子様一人ひとりに対する必要支援を定期的に職員間で話し合い支援方針を定め、適切に支援させていただいております。	今後も継続してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		行動観察や記録を通じてお子様の状況を把握し、フォーマル・インフォーマルなアセスメントを活用しております。	今後も継続してまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		児童発達支援ガイドラインのねらい及び支援内容を設定し、具体的な支援内容に反映しております。	今後も継続してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムは職員間で意見を出し合い、お子様の成長や興味関心を踏まえてイベント立案を行っております。	今後もお子様が興味の湧くようなイベントを、さまざまな視点から考案してまいります。

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	メインプログラムとして曜日固定しているプログラムはありますが、プログラムの内容が重複しないよう、イベント会議にて内容精査を実施し、様々な活動プログラムを取り入れてお子様に楽しんで頂けるよう工夫しております。	今後も、お子様が楽しんでいただけるような様々なプログラム・イベント活動を取り入れるよう努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	お子様の特性や状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせた支援を実施しております。	お子様一人ひとりの個別活動に対する支援の幅を拡大していくためにも、定期的に支援方針について職員間で話し合い、より一層支援の質向上に努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	毎日の朝礼と終礼、毎月の職員会議で支援内容及び各職員の役割分担について打合せを行い、確認を実施しております。	今後も継続してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	支援後には記録にて情報を残し、翌日の朝礼で全体周知と改善に向けた話し合いを実施しております。また課題の抽出と対応策の考案を行うことを目的に、日々の話し合いに加え毎月、月例会議を実施しております。	今後もより良いサービスを提供するために、お子様の情報を職員間でより密に共有してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	終礼議事録を使用して日々の支援内容を記録し、支援の妥当性や改善点を検討する材料としております。	今後も継続してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	適切なサービスを提供し続けるために、日々お子様の成長を分析しております。さらに定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しや調整を行っております。	今後も継続してまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	日々の話し合いや支援会議を通して、児童発達支援管理責任者が該当児童に関する情報を事前に収集した上で、サービス担当者会議へ参加しております。	児童発達支援管理責任者に限ることなく、お子様の状況により精進した専門職員の参加も検討してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	関係機関との連携体制は整えております。	今後も関係機関との協力体制を強化するとともに、支援体制を整えてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	保育園や幼稚園とお子様の情報共有や相互理解を図りながら運営しております。	今後も継続するとともに、新規着任の担任の先生とも情報共有を行ってまいります。また対象者がいらっしゃいましたら移行支援も視野に入れ改めて体制を整えてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	令和7年7月に開所しており、就学時への移行の対象児童がおりません。	就学へ移行予定の児童がおりますので、関係機関との情報共有と総理解を図ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	地域との連携に改善の必要があり、今後は積極的に助言等を受ける機会を設けてまいります。	現在は、児童発達センター交流はありませんが、今後機会がございましたら、積極的に連携を図り助言や研修を受ける機会を設けてまいります。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	疫病感染予防として、現在は協議会・子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加は行っていません。	現在は園や地域のこどもと活動する機会を設けておりませんが、ご要望がある場合は、情勢に応じて、検討してまいります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	連絡帳や送迎時に当日のお子様の様子をお伝えしております。また、保護者様からのお悩みを伺った際には、必ず職員間で周知し保護者様と職員で共通理解を出来るようにしております。	今後も継続して、取り組んでまいります。ご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	現在、明確なペアレント・トレーニングの実績はございませんが、日々の送迎時や家族支援にて保護者様へのヒヤリングと定期的なモニタリングを通じた保護者様からのご相談受付を随時実施しております。ご質問に対しては職員間で協議したうえで、保護者様にご回答とご助言を実施させていただいております。	保護者様に安心していただけるよう、今後も継続してまいります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	ご契約時に保護者様に対して、丁寧な説明を行っております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	お子様や保護者様の意向を確認し尊重しながら支援内容の検討を行っております。	今後も継続してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	児童発達支援計画を示しながら説明を行い、同意を得て支援を行っております。	今後も継続してまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	送迎時や家族支援にて保護者様よりお悩みやご相談を伺い、職員間で話し合いをしたのち、保護者様に助言と今後の支援のご相談をさせていただいております。	今後も子育ての悩み等に対する相談に適切に対応してまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	現在は保護者会やきょうだい同士で交流する機会を設けておりません。	保護者様同士、きょうだい同士が交流できる機会を必要に応じて検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	保護者様からご相談や申し入れがあった場合には、児童発達管理責任者を中心に職員間で話し合いを行い、迅速かつ適切に対応できるように体制を整えております。	今後も迅速かつ適切に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	日頃のお子様の活動内容や様子についてはSNSにて、週2回投稿をしております。また、活動内容の予定については、イベント予定表にて情報発信をしております。	今後も保護者様へ、活動の様子をわかりやすく発信してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	SNS等の投稿や配布物には、ダブルチェックを行い児童の個人情報が漏洩していないか厳重に確認しております。また、個人情報の記載のある書類は、鍵付き書庫に保管して扱いには十分に注意を払っております。	今後も新入社員を含めた全職員で個人情報の取り扱いについて留意してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	保護者様のご意見を尊重した上でお子様それぞれに合わせて最適な情報伝達方法を職員間で検討し、随時実施させていただいております。	引き続き連絡帳や、SNSツールなども活用してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	現在は事業所の行事に地域住民の招待等の対応は行っておりません。	現在は事業所の行事に地域住民の招待等の対応は行っておりませんが、ご要望に応じて、適切に検討してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	各種マニュアルを策定し、周知するとともに定期的に研修・訓練を実施しております。	今後も緊急時に迅速に対応できるよう、役割分担を見直しながら、研修・訓練を継続してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	制定したマニュアルを元に、緊急事態を想定し、お子様と職員を含む定期的な避難訓練を実施しております。また、緊急時の対応意識を高める目的で定期的に職員に対する研修の実施を行っております。それに際して、訓練や研修の様子をSNSにて保護者様へ周知させていただいております。	引き続き、お子様が楽しみながら災害の知識を得られるよう工夫して訓練を行ってまいります。また、業務継続計画（BCP）の定期的な更新も行ってまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	ご見学時やご契約時にて、服薬状況やてんかん等のお子様の現状および既往について、細かくヒヤリングさせていただいております。	新入社員に対しては、必ず服薬状況について共有を行っております。また、今後につきましても、送迎時に保護者様より状況の変化があった際には、適宜確認を行ってまいります。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		ご見学時やご契約時にて、アレルギーの有無とそれに際した対応等について、保護者様より細かくヒヤリングさせていただいたうえで、その内容について職員間で共有しております。	今後も定期的にアレルギーの確認や対応方法を確認し、安心して通っていただけるよう留意してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成しております。安全計画に基づき研修や訓練を行い、安全管理が十分された中で支援を行っております。	今後も定期的な施設内安全確認を継続するとともに、更にお子様の安全が確保されるよう取り組んでまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時にお話しさせていただいております。	今後も継続するとともに、保護者様からのご要望や変更点等ありましたら、適宜お話をさせていただきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットが起きた場合は必ず情報共有を行い、その内容については全職員が閲覧できるよう書類を作成しております。	今後もヒヤリハットが起きた際には、全職員で再発防止策をたて、事故や怪我につながるよう十分留意してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		日頃の虐待防止に対する適切な対応に加えて、法令に遵守した定期的な虐待防止研修を実施しております。	今後も毎月のセルフチェックを継続し、定期的な研修実施を行ってまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		ご見学時およびご契約時に身体拘束ならびに行動制限にあたる事例をご提示し、詳しくご説明を行ったうえで、同意を得ております。また、その内容については児童発達支援計画に明記しております。	今後も安心して通っていただけるよう、職員が同様の認識を持ち、十分に理解したうえで支援に対応してまいります。